I·O DATA

DVR-U シリーズ

DVD±R/RW/RAM セットアップガイド

B-MANU200154-01

本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。

本製品のその他の基本操作、Q&Aなどについては、
添付の「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROM内にあるオンラインマニュアルをご覧ください。

オンラインマニュアルのインストール／起動方法

①添付CD-ROMをドライブに挿入します。

パソコンにインストールしてから起動する場合

②[インストールをする]➡[オンラインマニュアル]をクリックしてパソコンにインストールします。
③以下の順に起動します。[スタート]➡[プログラム(すべてのプログラム)]➡[I-O DATA]➡[DVD Pro ツールズコレクション for ××××××]➡[オンラインマニュアル]

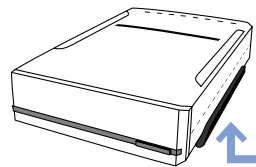
CD-ROMから直接起動する場合

②[オンラインマニュアルを読む]➡[DVR-Uシリーズ]の順にボタンをクリックします。

※オンラインマニュアル以外でも弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/support/)にてQ&Aを用意しております。本製品が正常に動作しない場合はそちらもご覧ください。 ※××××××は製品名が表示されます。

※図は実際とは多少異なる場合があります。

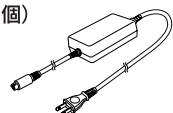
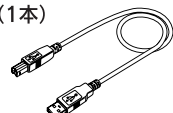
1 内容物を確認しよう

☐ドライブ(1台)

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

ここにシリアル番号をメモしてください。

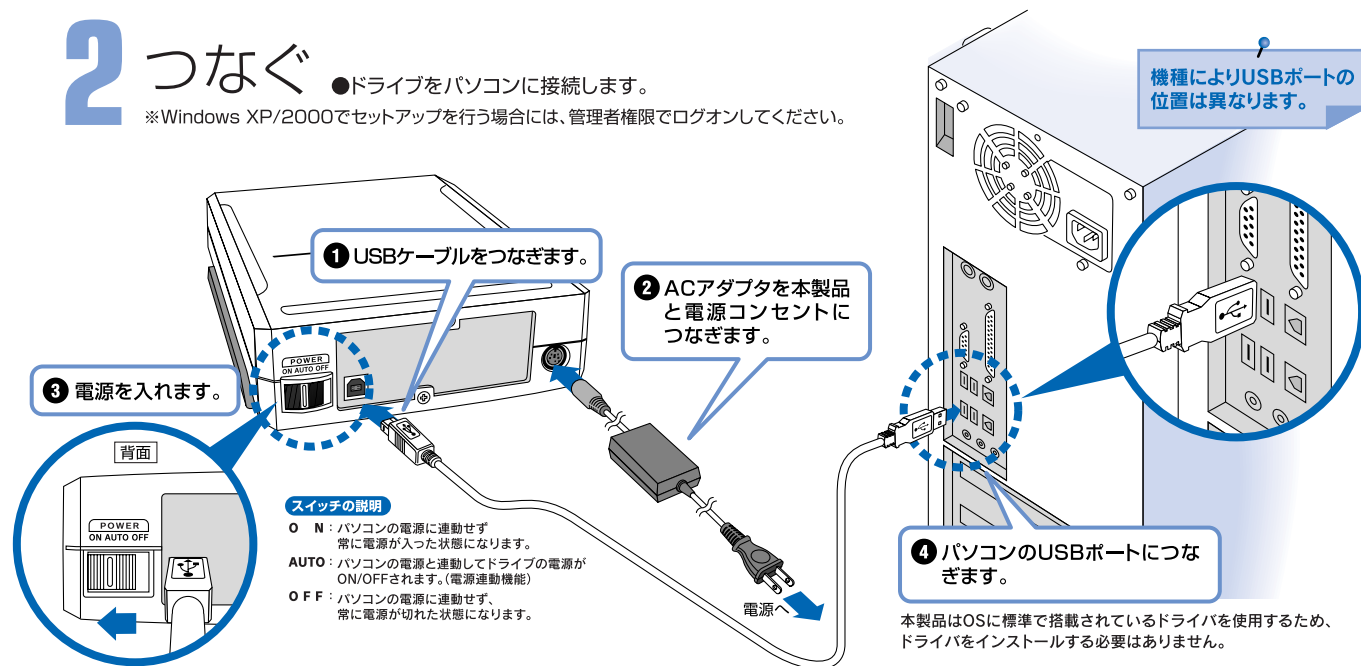
シリアル番号(S/N)は本製品に貼られているシールに「AAA0000000aa」のように印字してあります。
※Aは英字、0は数字、aは英数字となります。

●シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。http://www.iodata.jp/regist/
弊社ホームページよりソフトウェアをダウンロードする際にも必要な場合があります。http://www.iodata.jp/lib/

☐ACアダプタ(1個)

☐USBケーブル(1本)

- ☐DVD Pro ツールズコレクション(CD-ROM:1枚)
- ☑DVD±R/RW/RAMセットアップガイド(本書)
- ☐はじめにお読みください(1枚)
- ☐Ulead ソフトウェアCD(CD-ROM:1枚)
- ☐Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内(1枚)
- ☐ハードウェア保証書(1枚)

2 つなぐ

●ドライブをパソコンに接続します。

※Windows XP/2000でセットアップを行う場合には、管理者権限でログオンしてください。

スイッチの説明

- O N：パソコンの電源に連動せず常に電源が入った状態になります。
- AUTO：パソコンの電源と連動してドライブの電源がON/OFFされます。(電源連動機能)
- O F F：パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。

こんな時には…

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない

[キャンセル]ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

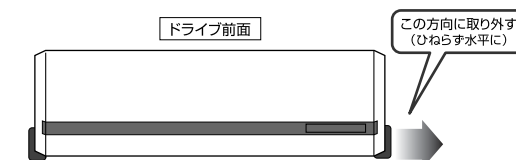
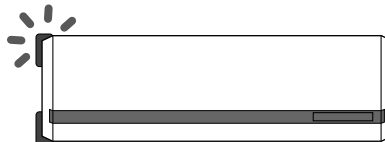
注意

- ●本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。
- ●本製品を持ち上げるときは、スタンド部分をつかまないでください。
スタンドが外れ、本製品が落下する危険があります。
- ●電源連動機能により、ドライブの電源スイッチをAUTOにした時点ではドライブの電源ランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続すると電源ランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

【電源連動機能】とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源がAUTOの状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。

【縦置きにする場合】

❶イジェクトボタン側の専用スタンドを矢印の方向にまっすぐ取り外します。
斜めに取り外した場合、スタンドの凸部分が取れてしまうことがあります。

❷図の位置に❶で取り外したスタンドを取り付けます。イジェクトボタンが上にくるように取り付けてください。

❸縦置きにします。

注意

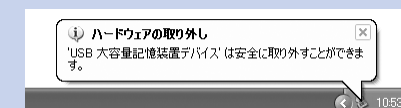
- ●スタンドは必ず取り付けてください。取り外した状態でメディアの出し入れを行うと、破損の原因になります。
- ●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けないでください。本製品やメディアを破損する可能性があります。

【取り外し手順】

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。(画面例:Windows XPでUSB2.0環境に接続した場合)

❶ タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。
表示されるアイコンはOSによって異なります。

❷ 本製品の表示をクリックします。
複数機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

❸ メッセージを確認します。
(Windows 2000、Meの場合は[OK]をクリックします。)

❹ パソコンのポートから、本製品のケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
(AUTOの場合、自動的に電源が切れます。※詳しくは上記、【電源連動機能とは？】を参照してください。)

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

3 確認する

本製品が正常に使えるかを確認します。

パソコンを起動して、[マイコンピュータ]を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品を使うことができます。

追加されたアイコン

▼Windows XPの場合

▼Windows XP以外の場合

注意 Windows 2000/Meでお使いの場合

DVD-RAMドライバーのインストール後は、リムーバブルアイコンが追加されます。DVD-RAMを使用するときは、このアイコンを使います。

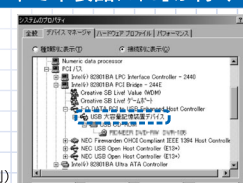
こんな時には…

アイコンが追加されていない場合

- ●[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてみてください。
- ●ケーブルの接続が正しく行われているかをご確認ください。
(パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。)

USB接続時にデバイスマネージャで本製品に「?」が付く

Windows Meでお使いの場合は、本製品をつないだ状態でデバイスマネージャを確認すると、本製品(USB 大容量記憶装置デバイス)に緑色の「?」マークが付いている場合がありますが、これは本製品の仕様によるものであり、問題無くお使いいただけます。

(画面例)

4 添付ソフトウェアを使う

用途に応じてインストールしてください。
※Windows XP/2000で収録されているソフトウェアをお使いの場合には、管理者権限でログオンしてください。

■「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMには以下のソフトウェアが収録されています。

社 名	ソフトウェア名	用 途
B.H.A	B's Recorder GOLD8 BASIC	データライティングソフト。 データを収めたCD/DVDや音楽CDを作成する際に使用してください。 ※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトウェアをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
B.H.A	B's CLiP	パケットライトソフト。 DVD+RW/-RWやCD-RWにドラッグ&ドロップ操作でデータを書き込むことができます。 ※他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトウェアをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
B.H.A	DVD-RAMドライバー	DVD-RAMにデータを書き込む際にインストールしてください。
I-O DATA	EasySaver LE	データバックアップソフト。 あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。 ※本ソフトは製品版EasySaverの機能限定版です。
Adobe	Adobe フォトショップ アルバム ミニ Photoshop Album 2.0 Mini	画像管理ソフト。 デジカメで撮った画像などを整理し、後で簡単に見付け出すことができます。
Adobe	Adobe Reader	PDF文書ファイル閲覧ソフト。 各ソフトウェアに付属しているPDF形式の文書ファイルをを読む際に使用します。
I-O DATA	見張っトレイ	トレイコントロールユーティリティ。 パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。
I-O DATA	オンライン マニュアル	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困った時には」などについて説明しています。

※DirectX 9がインストールされていない環境では、B's Recorder GOLD8 BASICのインストール時に DirectX 9が自動的にインストールされます。

●インストール方法

❶ Windows XP/2000でお使いの場合は、管理者権限でログオンします。
❷「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMを本製品にセットします。
自動でメニューが表示されます。メニューが表示されない場合は、CD-ROMの[Menu]([Menu.exe])を起動してください。
❸ [インストールをする]ボタンをクリックし、使用したいソフトウェアのボタンをクリックします。
❹ 画面の指示にしたがって、インストールします。インストール中にそれぞれのシリアル番号/CD-Keyが自動的に入力されます。
なお、B's Recorder GOLD、B's CLiPの場合は下記のシリアル番号が自動的に入力されます。

シリアル番号/CD-Key
●GOLD BASIC:　　●B's CLiP:

❺ メニュー画面を終了するには[EXIT]ボタンをクリックします。

■「Ulead ソフトウェアCD」には以下のソフトウェアが収録されています。

社 名	ソフトウェア名	用 途
Ulead	DVD MovieWriter 3.5 SE with VR for I-O DATA	DVDオーサリングソフト。 既存の映像ファイルやDVカメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。 DVDプレーヤーソフト「Ulead DVD Player」も同時にインストールされます。

●インストール方法

❶ Windows XP/2000でお使いの場合は、管理者権限でログオンします。
❷「Uleadソフトウェア CD」CD-ROMを本製品にセットします。
自動的にインストール画面が表示されます。インストール画面が表示されない場合は、CD-ROMの[Setup]([Setup.exe])を起動してください。
❸ 画面の指示にしたがって、インストールします。

注意

本書では、各ソフトの使用方法について記述しておりません。使用方法については、各ソフトをインストール後オンラインマニュアルやヘルプ等をご覧ください。(オンラインマニュアルやヘルプ等はPDF形式になっている場合があります。)

●B's Recorder GOLD、B's CLiPのオンラインマニュアル
[スタート]メニューの[B.H.A]に登録されます。

●DVD-RAMドライバーのオンラインマニュアル
[スタート]メニューの[DVD-RAM]に登録されます。

●DVD MovieWriter 3.5 SE for I-O DATAのオンラインマニュアル
[スタート]メニューの[Ulead DVD MovieWriter 3.5 SE for I-O DATA]に登録されます。

●EasySaver LE、見張っトレイのオンラインマニュアル
[スタート]メニューの[I-O DATA]に登録されます。

注意 B's Recorder GOLD、B's CLiPを使用する際のご注意

●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
●マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追記することです。)記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「B's Recorder GOLD」の「メディア」メニューの「情報」を選択してください。エクスプローラの「ファイル」メニューの「プロパティ」を選択すると表示される"使用領域"では、OSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
●2層DVD+Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
●2層DVD+Rメディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。
●一度でも書き込みに失敗したDVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。
また、書き込みに失敗したDVD+RW/-RW/CD-RWメディアは「B's Recorder GOLD」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。
●いったん「B's Recorder GOLD」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD」と本製品を使用してください。
また、いったん「B's CLiP」と本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP」と本製品を使用してください。
●一度「B's CLiP」でフォーマットしたDVD±RW、CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Erase」でいったん標準消去してから、「B's CLiP」で再フォーマットしてください。
●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
●エラー回避機能のチェックを外さないでください。
(ドライブによって機能の名称が異なります。)
《B's Recorder GOLDの場合》
「環境設定」→「ドライブ設定」→「高度なドライブ設定」で、"転送速度エラー回避機能"をONにしてください。
※エラー回避機能が常時ONになっているドライブでは、「高度なドライブ設定」のボタンは表示されません。
●他のCD/DVDドライブを読み込み元ドライブとして使用する場合の注意
「B's Recorder GOLD」が対応していないCD/DVDドライブ※の場合は、読み込み元ドライブ(コピー元)としてご利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。
※㈱ビー・エイチ・エーへ対応の有無をお問い合わせください。
●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。
●Windows 2000でお使いの場合には、ドライブのデジタルCD再生を無効にしてください。
●DVD±R/RWメディアに書き込む際、書き込み終了前に一度トレイが出し入れします。書き込み終了の画面が表示されるまではメディアを抜かないでください。手がはさまれる危険性があります。
●HDDバックアップ機能について
バックアップしたメディアを使用してHDDを元に戻すときは、本製品以外のMS-DOSで認識可能なDVD/CDドライブが必要です。

注意 DVD MovieWriter 3.5 SE(with VR)for I-O DATA、Ulead DVD Playerを使用する際のご注意

●本製品のリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
●CPRM技術で録画されたDVDディスクを再生、編集するには、インターネットに接続し、サービスパックをダウンロードする必要があります。
なお、ダウンロードできる回数には制限がありますので、ダウンロードしたプログラムは大切に保管してください。
手順については本製品のオンラインマニュアルをご覧ください。

5 本製品のオンラインマニュアルを見る

本製品のオンラインマニュアルでは、本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などを説明しています。

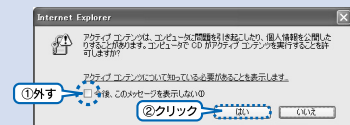
●インストールした場合 (インストール方法については、[4.添付ソフトウェアを使う]をご覧ください。)

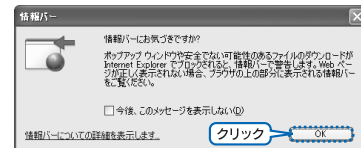
[スタート] ➡ [プログラム(すべてのプログラム)] ➡ [I-O DATA] ➡ [DVD Pro ツールズコレクション for ××××××※]
➡ [オンラインマニュアル]を順にクリックしてください。　※××××××は本製品の製品名が表示されます。

●CDから見る場合

❶「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMを本製品にセットします。
自動でメニューが表示されます。メニューが表示されない場合は、CD-ROMの[Menu]([Menu.exe])を起動してください。
❷ [オンラインマニュアルを読む] ➡ [DVR-Uシリーズ]の順にボタンをクリックします。

注意 オンラインマニュアルを見る際のご注意

Windows XPにService Pack 2がインストールされた環境では、右のメッセージが表示される場合があります。「今後、このメッセージを表示しない」のチェックを外し、[はい]ボタンをクリックします。
⇒オンラインマニュアルが正しく動きます。

[いいえ]ボタンをクリックした場合

①下の画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。
⇒オンラインマニュアルが表示されます。

②この場合、一部の機能が正しく動きません。情報バーをクリックし、表示された[ブロックされているコンテンツを許可]をクリックしてください。

③下の画面が表示されます。[はい]ボタンをクリックしてください。
⇒オンラインマニュアルが正しく動きます。